令和７年度　学校評価表（中間評価）　　能登町立柳田小学校

通し番号	評価項目	今年度の重点項目	担当者	評価規準・評価の観点	具体的な取組	実現状況の達成度判断基準	評価材料	自己評価 中間	自己評価 最終	取組の成果と今後の改善策	学校評価 中間	学校評価 最終
1	1学力の向上	①学校研究の推進	研究主任	・学力向上プランによる学校研究が充実している。	・授業研究の充実 ・授業相互参観 ・外部講師を招聘した研修会 ・校外研修への積極的な参加	児童アンケート②「話し合いを通して考えを深めようとしている」④「端末を話し合い活動に使っている」『肯定的な評価』の割合 学期末診断テストの達成率 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ②89.7 ④88.5 診断テスト達成率 48.3	B		・毎月1回授業セルフチェックを行い、学力向上プンを推進している。成果と課題を、研究だよりや掲示板で共通理解し、改善を図っている。 ・2学期は、授業セルフチェックの授業の相互参観を行う。学力向上プランの提案内容が、確実に実施され、学力の向上につながるよう、精度を上げる。	B	
2		②基本的な学力の定着	教務主任 GIGA推進教師	・基礎基本が定着している。 ・一人一台端末を活用した効果的な家庭学習を行っている。	・ドリルタイム、補充学習の充実 ・漢字検定、算数検定 ・家庭学習の充実 ・GIGA校内研修の充実	算数科 1学期まとめテスト達成率 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	1学期まとめテスト（知識・理解） 82.2% 1学期まとめテスト（思考・判断・表現）75.3%	B		・ドリルファイルに毎月、自分のめあてを設定し、主体的に問題プリントに取り組ませる。 ・週末に一人一台端末を持ち帰らせ、ドリル学習等を行っている。		
3		③教師の授業力向上	研究主任	・的確なみとりによる『いい授業』が行われている。 ・深い学びの実現にむけた『委ね』のある授業をし　ている。	・授業導入の工夫 ・発問や板書の工夫 ・表現の場の工夫 ・見取りと評価の工夫	保護者アンケート「②授業がわかると言っている」 職員アンケート③「45分での授業完結率」④「ねらい達成率」 Ａ：80%以上 Ｂ：70%以上80%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	保護者アンケート ②79.7 職員アンケート ③61.5（Aのみ） ④69.2（Aのみ）	C		・研究授業や校内研修を行って、授業改善を図っている。 ・授業セルフチェックシートに、「45分完結」や「ねらい達成」を組み込み、意識して取り組んでいく。		
4	2豊かな心の育成	①あたたかな眼差しのある学校	生徒指導主事	・子どもを認める時と場を意識した一人一人の居場　所がつくられている。 ・縦割り班活動の充実が図　られている。 ・いじめ、不登校の未然防止と支援に努めている。	・縦割り班活動の充実 ・情報共有に基づいた児童対応 ・児童や保護者への丁寧な対応 ・個々の良さを引き出す指導	児童アンケート「①学校は楽しい」「⑦失敗を恐れずチャレンジした」「⑧自分にはいいところがある」の肯定的割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ①92.3 ⑦88.5 ⑧92.3	A		・C、Dと回答した児童６名の理由を知り、情報共有をして複数の職員で改善を目指す。 ・失敗をしても良い雰囲気づくりを進める。 （普段の授業で間違いを認め合える、ちくちく言葉を使わない） ・柳っ子の木を、認め合う活動に活用する。 （一人に一枚以上渡せるようにする、縦割り活動の中で認め合う関係を育てる。）	A	
5		②規律ある集団づくり	生徒指導主事	・準備の時を意識させている。 ・目標設定とふり返りを明確にした学級づくりが図られている。	・柳田小授業ルールの徹底 ・生活目標とふりかえり	児童アンケート③「柳田小５つのルールを守っている」⑥「目標や仕事を最後まで頑張った」⑦「挨拶を自分から進んでした」『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ③87.2 ⑥94.9 ⑦87.2	A		・５つのルールを教師側も意識する。ルールに対しての振り返りをさせできているところを認めていくことで児童にも意識させる。 ・「進んで挨拶する」姿の具体例や、その意味について、児童と共有する。		
6		③心を育む教育実践	道徳推進教師 キャリア教育担当	・道徳教育、人権教育、キャリア教育が充実し　ている。	・道徳教育の充実 ・特別活動の充実	児童アンケート⑨「相手の気持ちを考えて行動している」の『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ⑨94.9	A		・授業参観や学校公開等で、全ての学年の道徳の授業公開を予定している。 ・行事や縦割り活動、地域学習を通して、成長への実感や将来の自分について考える機会をとるようにしていく。		
7	3体力・生活習慣の向上	①体力向上と運動に親しむ取組	体育担当	・『スポチャレいしかわ』や『いしかわっ子駅伝』への挑戦を行っている。 ・体育的行事に積極的に参加している。	・「スポチャレいしかわ」への取組 ・体育的行事の充実 ・各種大会への積極的な参加推進	児童アンケート⑰「進んで運動している」『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ⑰89.7	B		・２階ワークスペースに体力テストを意識した運動ができる場所を設置したことで運動に親しむことができた。 ・スポチャレいしかわへの取り組みが不十分だった。今後はスポチャレいしかわへの取り組みについて提案し、学校全体で体力向上を目指す。	B	
8		②心身の健康の増進	保健主事	・食生活の充実が図られ、基本的な生活習慣が確立している。 ・ＳＣと連携した心身の健康の増進が図られている。	・年間を通じた健康教育と食育 ・学校保健委員会 ・メディアコントロール週間 ・非行被害防止講座	児童アンケート⑬「好き嫌いせずに食べるようにしている」⑭「ていねいに歯をみがいている」⑮「ハンカチティッシュ持参」⑯「3点固定を意識している」の『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ⑬88.5 ⑭82.1 ⑮87.1 ⑯73.1	B		・毎月２週間、衛生検査を実施し、全て揃う学年が増えてきた。養護教諭や担任が歯磨きや手洗い、ハンカチ、ティッシュを持ってくる必要性を感じるよう、指導をしている。 ・メディアコントロール週間を設定し、生活週間について家庭で考えるきっかけを作っている。 ・今後は望ましい生活習慣や食育について、児童と保護者で考える授業参観等を行っていく。 ・小中連携の学校保健委員会において、「歯と口の健康」について協議した。		
9	4安心安全で地域に開かれた学校	①安全教育、防災教育の推進	保健主事	・危険予測、危険回避の資質・能力を育成している。 ・定期的な各種訓練と校舎内外の安全点検および整備が行われている。	・マニュアル作成と見直し ・安全点検 ・清掃活動 ・避難訓練の充実 ・事故対応研修	保護者アンケート⑬「健康・安全指導を行っている」⑭「環境整備に努めている」『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	保護者アンケート ⑬98.7 ⑭98.7	A		・計画通りに避難訓練(地震・不審者)、安全点検、交通安全教室を実施した。訓練実施後、対応マニュアルを見直している。２学期以降は水害・地震避難訓練を行う。 ・職員のアレルギー対応研修を実施し、児童への対応や救急車への要請方法などを確認した。	A	
10		②保護者や地域と連携した教育実践	教頭	・保護者・地域・学校が力を合わせて教育活動に取り組んでいる。	・除草作業 ・資源回収 ・ＰＴＡ役員会等	保護者アンケート⑮「保護者対応」⑯「保護者と協力してPTA活動」の『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	保護者アンケート ⑮97.5 ⑯96.2	A		・PTA学級役員数と専門部会の数を減らし、参加しやすい体制づくりに変更した。 ・１学期は、PTA事業を４回（総会、除草作業、救急救命講座、広報作成）行った。参加した保護者の意見をもとに、活動の見直しを行う。	A	
11		③地域の教育力を生かした教育課程の編成と実践	教務主任	・能登町のよさを知るふるさと教育が行われている。	・地域の方を講師に招いた授業 ・地域教材の開発と活用 ・体験活動の充実	児童アンケート⑪「地域の学習は楽しい」 保護者アンケート⑰「地域の良さを伝える教育活動」『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	児童アンケート ⑪84.6 保護者アンケート ⑰97.5	A		・全学年でふるさと教育に取り組んでいる。２学期は、どの学年も地域の方を講師に招いた学習を計画している。 ・１１月に、その成果を保護者や地域の方に発表する会を計画中である。		
12		④保護者や地域に開かれた学校づくり	教頭	・HP、各種おたより、学校公開等を通して、日々の教育活動を保護者や地域に伝えている。	・地域・保護者を対象とした公開授業 ・各種お便りの定期的な発行とHPの更新による情報発信	保護者アンケート⑱「学校は教育活動の様子を積極的に伝えている」⑲「開かれた学校づくりに努めている」の『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	保護者アンケート ⑱98.7⑲100	A		・学校ホームページの更新に努めている。 ・授業参観は１学期に２回、行事の公開を１回（運動会）行った。２学期と３学期も授業参観と行事の公開を予定している。 ・地域の方を招待して行事を行うことができないか検討している。		
13	5働き方改革と組織力の向上	①全校で足並みを揃えて指導する体制づくり	教頭 教務主任	・主任を中心に、評価に基づいた課題改善策が示され、組織的に取組が行われている。	・客観的評価を生かした学校運営 ・主任会議の充実 ・課題改善の推進	職員アンケート㉑「組織的に取組む」の『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	職員アンケート ㉑100	A		・学力向上や学校の取組について、評価を基に見直しを行っている。 ・今後は、課題改善のための具体策を積極的に提案し、全職員で進めていく体制づくりに努める。	A	
14		②自ら成長しようとする職員の育成	教頭 教務主任	・若手早期育成プログラムと日常的なOJTが充実している。 ・校内外の研修を通して学び合っている。	・学校の課題に即した研修の設定 ・職員同士で学び合う風土の醸成	職員アンケート㉒『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	職員アンケート ㉒92.3	A		・全職員を対象とした研修や若手教職員を対象とした研修を計画に基づいて実施している。 ・校外での研修成果を報告する会を実施し、学び合う職場づくりに努めている。		
15		③児童に向き合う時間や自身の生活を豊かにする時間を生み出すための業務改善	教頭 教務主任	・働き方改革を意識して、実施している。	・定時退校日や定時退校時間の設定 ・校務分掌の複数体制化 ・計画的な行事運営	職員アンケート時間外勤務月60時間未満の『肯定的な評価』の割合 Ａ：85%以上 Ｂ：70%以上85%未満 Ｃ：60%以上70%未満 Ｄ：60%未満	職員アンケート ㉓93.8	A		・４月から８月までの平均時間外勤務時間は、22.0　時間で、昨年度より1.9時間短くなった。 ・週2回の掃除なし日課や、職員終礼を週1回に減らすことで、職員の授業準備の時間を確保している。		

【学校関係者評価委員からの ご意見】

1. 学力の向上･･･ 確かな学力定着のための手立て、教師の指導力向上のための手立てを定め、実践するとよい。
2. 豊かな心の育成･･･学校が楽しいと感じている児童が多いが、苦しい思いをしている児童への手立ても求められる。
3･体力･生活習慣の向上･･･歯科受診率を上げる取組と3点固定を定着させる取組が必要である。
4. 安心安全で地域に開かれた学校･･･地域との交流があり、保護者とも協力している。
5. 働き方改革と組織力の向上･･･互いに学び合い向上する風土がよい。端末等を効果的に使い、効率的に働いている点もよい。